

書記長集約



九州本部 西山書記長

何点かについて集約したい。各委員から組織拡大についての発言があった。九州で昨年度連続して拡大を行ってきたが、残念ながら今年はまだ出ていない。組織拡大は各分会・地区本部の日頃からの地道な努力と行動の結果だ。拡大までとは繋がらなくても継続して行動し、コミュニケーションを取りながら加入のタイミングをしっかりと見極めて加入の呼びかけをお願いしたいと思う。また今回導入された「TUNA G」アプリについても早急に全組合員の登録をお願いしたい。このアプリを使えば組織拡大が出来るわけではなくあくまで一つのツールであり全員の登録と活用をお願い

いしたい。組織運営の見直し
の発言があったが、今年、鹿児島地区本部の本部直轄分会化を予定している。これはあくまで、組織の現状を考慮して前向きな見直しであり、見直しが衰退に拍車をかけ国労運動の後退になつてはならない。負担を軽減することにより、本来の運動を強化し組織拡大に向けて取り組むためのものである。組合員の減少で厳しい現状ではあるが諦めずに奮闘しよう。

・春闘について

4月に「人事賃金制度改正」で賃金が引き上げられるが、廃止される手当もあり、あまり恩恵をうけない人もいるため不満の声も聞かれる。また退職金に反映されないため、まやかしベアとなつている。今春闘では、好調な収益状況からも大幅な賃上げを求めて賃金制度とは別にベア獲得のために全力をあげていきたい。社員の多くが長い間の賃金抑制、物価高騰により生活は厳しさを増している。若手社員の離職は昨年度からは減少しているが歯止めにはなっていない。高卒採用も苦戦していると会社も認めている。多くの職場で

・安全安定輸送の確立について

は離職と合理化で休みもまたにも取れない状況に嫌気がさして悪循環が続いている。これを覆すには、大幅な賃上げしか選択肢はないと言え。コロナを言い訳にさせないベアと期末手当の獲得に向けて一致団結して運動を強化していく。

・公共交通を守る運動について
指宿枕崎線（指宿く枕崎間）について社長は「鉄道の存廃を前提としない」と説明しているが、肥薩線の復旧に対する対応からも明らかである。今後も沿線自治体や利用者とも運動が出来る体制が求められていく。鉄道が廃止すれば復活は困難であり、鉄道が無くなるれば地域の衰退は進むばかりである。国労は国交省に対して「観光立国」として地方ローカル線を貴重な移動手段として位置づけ、収支だけで存廃の議論が終わる事が無いように税制優遇や補助金制度が活用できるように要請してきていく。国と同様にJRに対しても同様に沿線自治体や利用者への声を聴くことを求めて運動を関係地区本部と連携して強めていきたい。

<行動予定>

- 3月5日 中央総決起集会
(14:00~リモート中継)
政党・国会要請行動
- 3月8日 春闘第2回交渉
- 3月9日 九州本部春闘総決起集会
14:30~ 博多TKP会議室

がん保険にできることを、もっと。

No.1 アフラックがん保険
※がん保険のNo.1はアフラックがん保険

1

幅広い保障で
経済的負担をサポート

治療前の検査から治療後の外見ケアまで
幅広い保障でしっかり備えることができます。

2

付帯サービス＜アフラックのよりそうがん相談サポート＞^(※1)
アフラックのよりそうがん相談サポーターが
さまざまな悩みの解決をサポート

「がんかもしれない」と思ったときから
専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

(※1) アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による付帯内容ではありません。サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ(https://www.aflac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html)をご確認ください。

(募集代理店) (アフラックは代理店制度を採用しています) (引受保険会社)

アベニール株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5
交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

Aflac

アフラック
東京第二法人営業部
東京都千代田区丸の内1-6-1
丸の内センタービル4階
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885

AFツール-2022-0277-2210030 7月13日